



おおくす



知ることで見えてくること

校長 野田 恵美

2学期が始まり、3週間が過ぎようとしています。まだまだ制限のある中ですが、社会見学や出前授業など、各学年で「本物と出会う活動」を進めることができています。

講師を招いての出前授業は、選挙の出前トーク、スマホ・ケータイ安全教室、認知症サポーター養成講座、尾張旭市役所企画課と考える「尾張旭ってどんなまち?」、いちじくジャム作りがありました。9月30日(金)には福祉実践教室が予定されています。出前授業ではないですが、学校保健委員会では栄養教諭を招いて「食」について考える活動もありました。

現地に足を運び、「本物と出会う」という点では、愛知県芸術文化センターまで国際芸術祭の作品を見に行ったり、名古屋港水族館に社会見学に行ったりしました。来週には市内の6年生全員が愛知県芸術文化センターへパイプオルガンのメモリアルコンサートを聴きに行く予定です。また9月29日(木)には、本校の体育館で文化庁の取組である手話狂言のワークショップが行われます。

様々な団体、機関等が子供たちの学習のために、「本物の知識や技」を提供してくれます。子供たちにとって、その仕事に携わっている人の話を直接見聞きするのはとても貴重ですし、何よりもまず、語る内容に説得力があります。学習にリンクしたことを知るだけでなく、市民のために、学校のために、いろいろな人が支えていることを知り、それが自分の将来の仕事を考えるきっかけになることもあるのではないのでしょうか。

本物と出会い、携わる人から直接話を聞くことで、一步深く、物事を知ることができます。深く知ると、見方や考え方が変わります。例えば、認知症サポーター養成講座では、認知症とは脳がどのような状況になっているのか、記憶の仕方が通常ではない場合、本人はどのような気持ちなのか、などを教えてもらいました。それを知ることで、認知症の捉え方が変わり、どのように対処したらよいのかを考えることができます。実際、子供たちは「家族が何度も何度も同じことを言ってしまう場合、あなただったらどうする?」と問われたときに、相手の状況を踏まえた上で、言葉のかけ方や対処の仕方を自分なりに考え、答えていました。

国際芸術祭では、抽象的な作品が多かったのですが、鑑賞ボランティアから、作品のできた経緯や作者の考えていたことを少し紹介してもらいました。作品の背景を知ることによって「なんだかわけの分からない作品だな」と思って終わるのではなく、「じゃあ、この部分はこんなこと思ってたんじゃない?」「実は違う意味が隠されているんじゃない?」などつぶやいていました。作品に対する見方が広がり、一步深い作品鑑賞ができたのです。今まで何気なく通り過ぎていた街角の作品に立ち止まる子が出てくるかもしれません。

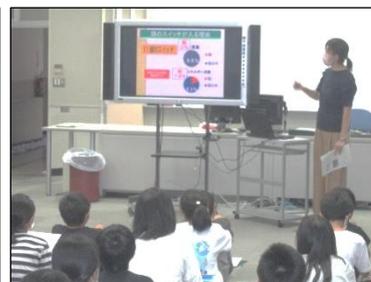


どの出前講座や社会見学においても、子供たちの吸収の速さと思考の柔軟性には驚かされます。私たち教職員も子供たちの感性豊かな発言から、ものの見方や考え方が広がる時が数多くあります。学習内容と照らし合わせながら、よりよい「本物との出会い」の場をこれからも設けていきたいです。

【学校保健委員会 ～「食」について考える～】

9月12日(月)に学校保健委員会が開かれました。本来ならば、児童だけでなく、保護者の皆様、地域の方、職員などで行う活動です。今回は感染拡大予防のため、5時間目に5年生、6時間目に6年生と職員というように2つに分けて行いました。養護の先生からげんきっこ週間の結果を聞いてみんなで考えたり、保健委員が考えたアイデア朝ごはんの発表を聞いたり、栄養の先生から朝食の大切さや食べ残しの行方等の話がありました。給食センターのSDGsへの取組も教えてもらいました。

「食」について、「自分たちができることってなんだろう」と改めて考えるよい機会となりました。今後の生活の中で、実行できることもたくさんあります。今日の学びを友達や家族と共有して、生かしていけるとよいですね。



<保健委員会による朝食メニューの紹介↑>

<栄養教諭による講話↑>

【前期 児童会企画 ～スローガン なかよく 楽しく 一致団結～】

9月14日(水)から16日(金)にかけて、2つの児童会企画が行われました。遊具をアスレチックに見立ててコースを作り、ゴールカードをプレゼントするという「渋川っ子の冒険」と、友達と力を合わせて渋川小に関する問題を解いて校内を巡るという「極秘のミッション」です。企画も運営も子供たちが行いました。12日(月)の児童集会で企画の方法や注意事項を全校に連絡し、ミッションカードをつくって配布しました。感染拡大予防のため、実施日を複数設定し、学年指定をしたり、低学年用と高学年用と内容を変えてたりして、だれもが安全に楽しめるように工夫していました。

29日(木)には後期児童会役員選挙があります。これまで、みんなで考え、工夫して行ってきた児童会活動を後期役員にも引き継いでいってください。



<正解スタンプをおすよ↑>

<↓ ゴールおめでとう! >



渋川小学校の思い出を募集します! ～150周年をむかえるにあたって

渋川小学校は、明治6(1873)年8月に良福寺を仮の校舎として、「第二学区第三番中学区内第五十六番小学渋川学校」として誕生しました。来年2023年は150周年にあたります。記念事業の一つとして、本校の歴史をふりかえるリーフレットを作成したいと考えています。渋川小学校に関する思い出の写真やエピソードなどを10月から募集する予定です。

ご家庭や地域の方からのご参加をお待ちしています。



渋川小学校のHPをご存じですか?
学校日より「おおくす」のバックナンバーもあります。
ぜひご覧ください。

URL <https://www.owariasahi.ed.jp/sibukawa-e>



出前講座や見学の様子も写真と共に掲載されています!

*QRコードからもアクセスできます。